

令和3年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	1-	11	
事業名	消防施設経費	会計 一般	款 9	項 1	目 3
政策	8 安全と安心を守るために	課名	総務課		
施策	8-1 消防・防災対策の充実	係名	防災対策室		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。
事業内容	消防力を強化し、住民の生命、財産を火災から保護する。 町内全域に70基の防災行政無線子局、防災ラジオ（有償配付）を配備し、住民に災害への注意を呼びかけている。 約900基の消火栓ボックスを町内全域に設置し、消火栓の維持管理を町上下水道課へ委託、消火栓ボックスについては、自治会・自治会自主防災組織による点検を実施している。また、平成21年度からは取り替え作業についても自治会へ移管し、自治会・行政の協働による消防力の強化を進めている。			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度（目標）
	1							
	2							
	3							
	4							
	5							
			令和2年度（決算）	令和3年度（決算）	令和4年度（予算）			
全体事業費（千円）A+B			121,945	32,467	324,959			
財源 内訳	直接事業費A		119,365	29,353	321,983			
	うち一般財源		7,926	3,533	15,083			
人件費（千円）B			2,580	3,114	2,976			
内訳	一般職員（人・千円）		0.38	2508	0.45	2,970	0.44	2,904
	臨時職員（人・千円）		0.04	72	0.08	144	0.04	72

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R3年度の改善計画	火災や災害発生時に重要な、防災行政無線機器のデジタル化更新整備。災害等の情報発信媒体の導入等の検討を図る。（現在の個別受信機〔防災ラジオ〕がデジタル化に伴い対応できなくなる）	③取組の課題	消防水利の適切な維持管理 消火栓ボックス及びホース交換 個別受信機〔防災ラジオ〕の終期計画
②R3年度に実施した取り組み	防災行政無線デジタル化整備工事の実施	④今後の改善計画	消火栓ボックス及びホース交換及び維持管理 個別受信機〔防災ラジオ〕の終期計画